

「すぐにできない」事を続けてみる！

3学期は、多くの学年で持久走や縄跳び、跳び箱などの学習に取り組んでいます。タブレットで自分の動きを確認したり、仲間と励まし合ったりしながら練習を重ね、「前より速くなった!」「二重跳びができた!」と小さな達成を喜ぶ姿が見られます。

また、2年生は2学期から九九の暗唱に挑戦しています。職員室で先生方に聞いてもらい、励ましの言葉をかけられると、表情が一気にやる気になります。6年生に聞いてもらう機会もあり、互いの成長を感じられる時間になっています。

すぐにできないことは諦めがちですが、「続けてみる」ことで達成できる経験を子どもたちに味わってほしいと思います。苦手なことに挑戦する心は、日々の小さな成功体験の積み重ねによって育っていきます。そのためには、周りの大人の支えも欠かせません。子どもが「すぐにできない」ことに向き合っているとき、辛抱強く励まし続けられる大人でありたいものです。



「校長先生！聞いてください！」



「上手に言えているよ!」
と6年生の温かいエール!

社会と子ども達を結ぶ学び

今年度も、総合的な学習の時間を中心に、地域の「ひと・もの・こと」から多くの学びを得てきました。実際に地域へ出かけたり、人と出会ったりする経験は、学校の中だけでは得られない実社会と子ども達をつなぐ貴重な機会となっています。今年度も、地域の皆様をはじめ、多くの方々のご協力により、子ども達の学びを深めることができました。



ご協力いただいた方々
のお仕事は…

- ・幼稚園教諭
- ・歯科医
- ・やり投げ選手
- ・美容師
- ・飲食業
- ・生活用品販売業

6年生「未来プロジェクト」では、三次市内で働いておられる6名の方に職業インタビューをしました。働く内容は異なっても、仕事に向き合う姿勢や働く上で必要な力には共通点があることに気付くことができました。

3月19日(木)卒業証書授与式について

当日は、卒業生と保護者、教職員、来賓、在校生代表として5年生が参加します。1~4年生は臨時休業となります。各学級より家庭での過ごし方について連絡する予定です。基本的には自宅で過ごしてください。学校に遊びにくるようなことがないようにご家庭で話をしてください。

児童クラブは、開所しています。

永年の功績に対して感謝

これまで十日市小学校の水泳指導に携わり、プールの管理等でご尽力いただいていた 井清 恭行さんが、昨年9月にご逝去されました。これまでのご厚情に深く感謝し、謹んでお悔やみ申し上げます。

井清さんは、夏休みのプール開放において水の事故を防ぐため、時に厳しく、徹底した安全指導を行っていただきました。その多大なるご貢献に対し、十日市小学校PTAより感謝状を贈呈いたしました。

これからも井清さんの強い思いを受け継ぎ、子どもたちの安全を第一に考えた水泳指導を継続してまいります。



1月14日のPTA役員会で井清さんのご家族に感謝状をお渡ししました。

学校評価保護者アンケート（1月）の結果

保護者の皆様、第2回学校評価に係るアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。アンケートの結果と今後の取組についての方向性は次の通りです。【回答率 約55%】

① わが子は、楽しく学校生活を送っている。



■ 大変そう思う ■ そう思う
■ あまり思わない ■ 思わない

② わが子は、思いやりのある行動がで



③ わが子は、体を動かすこと（運動）に親しんでいる。



④ わが子と一緒に、災害時の対処行動について話をしたことがある。



⑤ 学校（教職員）に、わが子のことについて悩んでいることがあれば相談できる。



⑥ 学校は、教育活動の内容や児童の様子をお便りやホームページ、teturu等で分かりやすく伝えている。



⑦ 学校は、地域の方と連携し、地域を知る教育活動に積極的に取り組んでいる。



アンケート結果から見ると、1回目同様に肯定的回答が多く寄せられました。「わが子は、楽しく学校生活を送っている」「学校は、教育活動の内容や児童の様子をお便りやホームページ、teturu等で分かりやすく伝えている」においては、1回目よりも「大変そう思う」の割合が増えています。一方では、それらの項目にも「思わない」の回答があることや、全ての項目において「大変そう思う」の回答が少ない状況も見られました。

今年度も、教育相談をはじめとし、日常的に保護者の方からもご意見などいただきながら教育活動を進めてまいりました。今後も、子ども達が学校生活を安心して過ごせるようインクルーシブな視点に立った取組を進めるとともに、保護者の方が学校へ相談しやすい環境・体制づくりを進めてまいります。